

## 7月21日(火) 守山市立図書館を訪問しました！

### 対談テーマ

～本と人が出会い、人と人がつながる知の広場～をめざして

主体的な学びの基本となる読書活動を推進する施策へつなげるために、学校や家庭等における読書活動の推進事業や、読書環境の整備等の取組を積極的に行っている守山市立図書館を訪問しました。

### 訪問した委員

藤田 義嗣 委員    岡崎 正彦 委員    窪田 知子 委員    野村 早苗 委員

### 守山市立図書館の概要



守山市立図書館は、「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」をコンセプトに、市民と本の出会いを生み出し、本を通して人と人がつながる場となることをめざしています。平成30年11月に、豊富で多種多様な資料と、市民の皆様が文化・芸術・市民活動を十分に行うことができる広いスペースが一体となった図書館として生まれ変わりました。

- 来館者数、貸出冊数、貸出人数が、旧図書館の時と比べて、いずれも増えている。
- 主な事業
  - ・おはなし会の毎日開催(15時より、図書館サポート隊、図書館司書との協働)
  - ・読書通帳の配布(借りた図書の記録)
  - ・図書館サポート隊の活動(サポーター数93人、うち中高生27人)
  - ・医療機関との連携、学校・地域・団体への利用啓発と連携 他
- 学校図書館支援事業として、学校図書館の利用を促進し、児童・生徒の読書意欲の高揚を図っている。また、生涯にわたって読書に親しんでもらえるように読書の啓発活動を行っている。(学校司書の配置：中学校4校に1名、小学校9校に3名)

### 意見交換より

(委員)  
新しくなってどれくらい市民の思いを達成できましたか。

(図書館)  
貸出冊数等の数値目標は達成できていますが、利用者の満足度については常に100%を目指したいです。

(委員)  
図書館を中心として、人がつながる場がありますね。図書館の新しい価値を創出していると思います。

(委員)  
中高生の貸出冊数が少ない理由はどのように分析されていますか。

(図書館)  
スマホなどの普及が理由のひとつに挙げられますが、学校司書が入り、中学校や高校の図書館が充実していることも考えられます。



今年度、第1回目の訪問となりました。

## ◆教育委員より

文化・芸術等、様々な市民活動  
ができるようになっていきます。



### 〈藤田委員〉

このたび、守山市立図書館を訪問致しました。コミュニティセンターにある図書館というイメージを受けました。従来の図書館の機能は、所有蔵書の豊かさと読者の幅広い人々に活用していただき、地域の知的集約機能を提供する役割に主力が置かれています。しかし、守山市立図書館は本来の図書館機能をオープン化に進め、市民の要望を図書館という型に整合性を持たせた多機能性を取り入れ、様々な市民との接点を実現化されていました。これらは新しい図書館の在り方を具体化された印象を受けました。御関係の皆様のご尽力を感謝申し上げます。

### 〈岡崎委員〉

これまで感じてきた図書館とのイメージとは違い、外観や内装にも木がたくさん使われた建物の空間は、落ち着いて人が集まりそこに本が置いてあるような施設で、人と人がつながる知の広場を演出していました。絵本エリアでは本棚が子どもの背丈ほどにしてあり、保護者の視線が行き届く工夫など安心して本に触れあう事ができる空間でした。とても興味を引いた事は、自分が読んだ本の記録を読書通帳という形で貸出日、タイトル、本の値段が記録され、冊数もわかりますが金額で分かる楽しい工夫が大変面白い取り組みと感じました。

### 〈窪田委員〉

採光や動線を工夫され、明るく開放的かつ落ち着いた雰囲気、市民にとって居心地のよい憩いの場になっていると実感しました。新しく建て替えられた図書館だからこそそのメリットはもちろんですが、開館時間の延長や学校司書との連携など、運営上で、利用者のニーズにきめ細かく応じようという姿勢に大変感銘を受けました。図書館は、壁一面に並んだ本の中から“思いがけない”出会いがあることも魅力のひとつです。読書習慣の推進・定着を目指していくためには、どの市町に住んでいても、図書館が「足を運びたい」身近な存在となるのが大切だと思います。そうした読書環境の充実のために県として何ができるかをこれからも考えていきたいと思っています。

### 〈野村委員〉

「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」をコンセプトに文化活動などで人が集えるスペースを設けられたことで、様々な市民活動の活動拠点となっています。また、サポーターの方や、中高生の皆さんで作るコーナーを設けるなど、随所に工夫が施され「一日中図書館で過ごせる」という市民の声も納得できる場所です。このような取組は従来の図書館にはない概念だと思いますが、図書館は情報発信の機能を備えた施設であることを考えると、市民のコミュニティの場としての存在は自然な事かもしれません。今後も、常に向上心をお持ちの館長と積極的に活動をされている皆さんで、魅力ある図書館づくりが継続的に行われるものと期待しております。



天気の良い日には、目田川を眺めながら、読書をしたり、くつろいだりできます。

ゆったりと読書が楽しめる空間でした。



生涯を通じて学び続けるには、主体的な学びの基本となる読書活動がとても大切です。また、読書活動は「読み解く力」の育成にも関わってきます。家庭・地域・学校を通じた読書環境の充実が子どもの時からの読書習慣の定着につながると考え、県教育委員会でも読書活動の推進を図っていきます。

〈教育総務課 企画係〉